

いわて県連だより

【第92号】 発行日：2026年5月 発行責任者：自由民主党岩手県支部連合会



自民党



第六期いわて政治塾 第6回講座・卒塾式

県連として、六月に知事要望を行うとともに、その後、国に対しても必要な支援策を強く求めてまいります。昼夜を問わず消火活動に尽力された地元消防団、消防署、県防災航空隊、さらには県内外から応援に駆け付けられた消防関係者の皆様の多大なるご尽力に、心より深く感謝と敬意を表します。



大槌町林野火災現地調査

四月二十二日に発生した大槌町林野火災は、焼失面積 1633ヘクタールに及ぶ甚大な被害となり、昨年の大船渡林野火災に次ぐ大規模災害となりました。発生直後から懸命な消火活動が続けられ、五月二日に鎮圧が確認されました。自民党岩手県連では、四月に続き、五月十五日に二度目の自民党県議団および米内紘正衆議院議員による現地調査を実施し、大槌町役場、商工会、観光交流協会、釜石地方森林組合、ジビエ事業を展開する株式会社訪問、被災状況や今後の復旧・復興支援の在り方について現場の切実な声を伺いました。

五月九日、いわて政治塾第6回講座および卒塾式を行いました。第6回講座では、米内紘正衆議院議員をお招きし「国の責任ある積極財政と岩手の未来」と題し、これまでの議員活動のほか、高市総理が掲げる「責任ある積極財政」についての考え方や「挑戦しない国に未来はない」を受けて、地方や岩手が今後どう取り組むべきかなど、ご自身のお考えと共に、貴重なご講演をいただきました。その後、卒塾式を開催し、二十五名の受講生に修了証書が授与されました。第七期いわて政治塾は、今年の十月以降のスタートを予定しております。

女性局 意見交換会開催

五月十四日、「いわて水土里ネット女性会」様と意見交換を行いました。会では、土地改良区の事業運営の現状や、農業に関して担い手確保・女性向け支援策の不足など、女性が声をあげにくい、交流の場が少ないなど、多角的視点から意見があげられました。女性局からは、国、自治体の対応の説明を行い、農業に従事している議員からは両方の立場からの意見を述べると、活発な話し合いの場となりました。「子どもを大学に通わせられる水準の“儲かる農業”」の実現を願う声もあり、しつかりと受け止め、課題解決に取り組んでまいります。



全国青年部長・青年局長会議・研修会

五月二十三日、全国青年部長・青年局長会議と研修会が党本部で行われ、岩手からは菅原亮太青年局長と鍵本桂青年局幹事長が出席いたしました。

会議では、今後の青年局活動について説明があり、また、初めて有志研修会の開催誘致コンテストが行われ、今年は熊本地震復興から十年となる熊本県に研修先が決まりました。その他、SNS発信に関するワークショップ、外交に関する講演も行われ、多岐にわたる研修が行われました。



みんなの横顔 ⑬

岩手県議会議員 城内愛彦さん



ご縁があり、宮古市スポーツ協会の会長をしています。本年の「宮古サーモン・ハーフマラソン大会」は記念すべき第40回大会！東日本大震災津波の年でも開催し、コロナ禍でも人数を制限して開催できた事は、参加者様はもとより、協賛くださった宮古市・企業の皆様へ感謝いたします。

震災後からは、青山学院大の選手も参加して錦城花を添えていただき、大会を盛り上げてくれています。近年では、日体大や中央大・駒澤大・東洋大・東北福祉大女子陸上部にもご参加いただき、参加者・沿道から声援を送る皆様へ感動を与えていただいております。さながら、箱根駅伝の前哨戦の様で、宮古市の晩秋の風物詩となっています。

今年も11月8日に開催予定です。参加者には、鮭汁と秋刀魚を出す予定です。足に自信のある方、ご参加をお待ちしております！

